教育実践論文or研究論文or実践報告（MS明朝10.5，該当するものをひとつ記載）

**内容がわかるよう簡潔な和文題目（MS明朝14太文字）**

**－中心として取り上げた課題を副題目に（MS明朝11太文字）－**

佐賀　太郎＊　・　大学　花子＊＊　・　文教　学＊＊＊（MS明朝12，所属上付き）

英文題目（Century14，副題目があるときは末尾に「：」付記）

英文副題目（Century11）

Taro SAGA, Hanako DAIGAKU, and Manabu BUNKYO（Century12）

【要約】和文200字以内とする。数字は原則半角とする。欧文単語またはアルファベット小文字は原則半角とする。句読点は「，」「。」を使用する（MS明朝10.5）。

【キーワード】単語5つまでを「，」で区切る（MS明朝10.5）。

　原稿の余白は上下左右20㎜とする。和文の場合，横書き22字×40行×2段，又は45字×40行×1段とする。縦書きは32字×27行×2段，又は65字×27行×1段とする。

原則「MS明朝10.5」を使用する。ゴシックなどの使用活字体は指定する。図や表は本文中に挿入する。「表」とは，授業指導案を含む数字や文字で構成された資料を指し，上に表番号と表タイトルを書く。「図」とはグラフや写真など，数字や文字が主体ではない資料を指し，下に図の番号と図のタイトルを書く（MS明朝10.5）。



図1　○○○○

表1　○○○○

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

教育実践論文の構成の例

1. 問題提起
2. 実践目的
3. 実践内容
4. 実践結果
5. 考察
6. 結論

文献

研究論文の構成の例

1. 問題
2. 目的
3. 方法
4. 結果
5. 考察
6. 結論

文献

実践報告の構成の例

１．概要

２．経過（記録、結果）

３．まとめ

　なお，全体を2段組構成で，例えば指導案のみ1段組とすることも可能です。